

- 各委員からの発表と議論を踏まえ、とりまとめを作成することとし、8月の第4回にてとりまとめ骨子(案)、9月の第5回にてとりまとめ(素案)をそれぞれ懇談会へ諮ることとしたい。

時期	検討内容
令和6年12月	住宅生産に関わる担い手に各団体を通じてヒアリング、アンケート票(案)の作成、統計資料の加工
令和7年2月5日	<p><b>第1回 懇談会</b></p> <p>現状分析①、議論の進め方の前提となる共通の視点、住宅建設技能者の区分について議論</p>
2月	各団体等を通じてアンケートの実施、統計資料の加工
3月	アンケートのとりまとめ、可視化
4月28日	<p><b>第2回 懇談会</b></p> <p>現状分析②、アンケート結果共有、目指すべき姿・具体的な行動・基本的な考え方について議論① (入職者の増加(憧れの職業へ)、職場環境整備(働き続けられる職場へ)について)</p>
5月	議論の内容まとめ、深掘りのための資料等の準備、追加アンケートの実施・集計
6月18日	<p><b>第3回 懇談会</b> <span style="float: right;">←イマココ</span></p> <p>現状分析③、目指すべき姿・具体的な行動・基本的な考え方について議論② (将来見通しの整備(働き続けられる職場へ)、住宅建設の省力化・効率化(生産性向上)について)</p>
7月	議論の内容まとめ、深掘りのための資料等の準備、追加アンケートの実施・集計 ※令和7年7月住宅宅地分科会にて住生活基本計画の中間とりまとめ(素案)の提示
8月6日	<p><b>第4回 懇談会</b></p> <p>目指すべき姿・具体的な行動・基本的な考え方について議論③</p>
9月5日	<p><b>第5回 懇談会</b></p> <p>目指すべき姿・具体的な行動・基本的な考え方について議論④、懇談会とりまとめ</p>

※令和7年11月頃の住生活基本計画の中間とりまとめへの反映を目指す